

## 巻 頭 言

第20回学術大会に向けて皆さま、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

この度、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第20回学術大会の大会長を拝命しました亀田総合病院薬剤部の舟越亮寛です。

2026年6月6日(土)、7日(日)の2日間、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第20回学術大会を東京都港区の「東京慈恵会医科大学」にて開催させていただくことになりました。テーマは「ジェネリック医薬品・バイオシミラーの更なる安定確保と産学官民連携」といたしました。

安定供給の確保を基本として、2024年に後発医薬品を適切に使用していくためのロードマップが策定され各都道府県では第4期医療費適正化計画のもと保険者も含めた活発な啓発活動がされているところです。2024年度診療報酬改定では、先発医薬品選択への選定療養費制度の導入やバイオ後続品使用体制加算が新設されるなど、着実なジェネリック医薬品およびバイオシミラー使用促進のための施策が実施されております。2026年度診療報酬改定では本大会のテーマに沿ったような更なる安定確保の強化、更なるバイオシミラーの使用促進が組み込まれ、ちょうど6月から始まります。

産業としても2025年度は複数のバイオシミラーが市販化され、高額医療費制度の見直しも検討される中、ジェネリック医薬品やバイオシミラーの使用促進に関しては医療者の理解そして患者の理解が必要なことは言うまでもありません。本学術大会では、ジェネリック医薬品・バイオシミラーを安定確保した上で、産業・行政・研究・国民が連携強化をはかりながら開発ならびに使用促進を加速させていくための課題や解決に向けた幅広い議論ができればと考えております。

学術大会を開催します東京都港区は、本学会事務局があり20回という節目でもあるため原点回帰の想いも含めて開催地に致しました。第1回会場の笹川記念会館は2024年に解体したため、東京タワーにより近い会場をとしました。国際性・多様な景観・利便性の高い交通アクセス・ビジネスと文化の発信拠点を楽しんで頂きながら、ジェネリック医薬品・バイオシミラー更なる安定確保と国民と産学官の連携について学ぶ機会にして頂ければと思います。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2026年3月

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第20回学術大会 大会長  
医療法人鉄蕉会医療管理本部薬剤管理部部长  
亀田総合病院薬剤部部长／治験管理センター長

舟 越 亮 寛